

事業会社の経営再構築を目指し 戦略オプションを検討

ホールディングスグループ傘下で、基幹事業とは関連のないBtoCビジネスを営む事業会社の業績向上に向け、コンサルティングファームなどで豊富な経験を積んだ研究員が市場調査を実施し、経営戦略を練った。

▼
取り組み内容

Step 1
初期調査

簡易的な財務分析や従業員インタビューを実施し、事業の市場性について十分な判断材料がないことが判明し、課題を再設定。

Step 2
定量調査
定性調査

市場環境や将来性を捉えるため定量調査に加え、定性調査として既存取引先や関係者インタビューを実施。

Step 3
市場性評価

Step2で収集した情報を基に、市場の将来性や事業のパフォーマンスなどを踏まえ、事業性を評価。

Step 4
戦略オプション
の検討

事業性と内部リソースの制約を考慮して、事業会社が取り得る戦略オプションを検討、提示した。

受入企業

株式会社 タマダホールディングスグループ

代表取締役社長 玉田 善久 さん

ガソリンスタンド用の地下タンクの製造で国内トップとなる約70%のシェアを誇る株式会社タマダを中心とした12社の持ち株会社。2023年4月に発足した。積極的なM&Aによってタマダの子会社が増えたことから、持ち株会社に移行し管理部門と事業部門を分け、グループ全体での財務状況を明確化し、シナジーを発揮しやすい体制を整えた。

研究員

三浦 千尋 さん

岩手県出身。大学卒業後、金融機関を経てコンサルティングファームに入社。中小企業の再生フェーズを中心に、事業計画の策定や経営管理支援を手がけてきた。小売りや飲食、教育をはじめ、多様な業界・業種を支援してきた経験を有する。経営者の経営判断に役立つ管理会計の体制構築や運用支援などを得意とする。

共創型企業・人材展開プログラム 事例

CASE:

傘下企業の
業績向上へ
針路を探る

取り組みの成果
・
今後の取り組み

- ・多角化していた事業を商材や顧客、販売チャネルを軸に再定義した上で、市場性を捉えるための定量調査・定性調査を実施した。
- ・各種調査結果を基に、各事業の将来性を明確にし、事業性を評価した。
- ・各事業を安定的に継続できる可能性やリソースの制約を考慮した上で、今後取り得るいくつかの戦略オプションを検討し、提示した。

企業の評価・今後の関わり方

参加理由

・ホールディングス傘下にある事業会社の立て直し策の一環として、昨年新たな経営者を抜擢しました。この事業会社を経営コンサルタントの目線で客観的に見てもらい、再建をサポートしてもらえればと思い、本プログラムに参加しました。

評価（成果・社内変化など）

- ・銀行員やコンサルタントとして経験を積んだだけあって、三浦さんは現状を分析したり、それを分かりやすい資料として表現したりする能力に優れていると感じました。
- ・三浦さんには現状分析に基づき、さまざまなシミュレーションを重ねた上、複数の戦略オプションを提示してもらいました。これによりスピード感をもって経営判断を下すことが可能になりましたので、非常に大きな仕事をしていただいたと感謝しています。
- ・会社の成長は人材の量と質にかかっています。人材の質を高める鍵はその多様化にあり、本プログラムは自分たちと異なる専門スキルを持った人材から刺激を受けられる絶好の機会だと思います。

今後の関わり方

・三浦さんとは今年4月から1年間、新たに業務委託契約を結び、新たに設置した「経営戦略推進部」に籍を置いてもらいます。グループシナジーの創出、増大に向け、傘下の企業の経営支援に力を発揮してくれると期待しています。

研究員の評価・今後の展望

参加理由

・友人からの勧めで本プログラムを知りました。今後のキャリア構築の前提として、自身のスキルを棚卸し、専門性とその独自性を言語化するとともに、一個人として企業に貢献できることを明確にしたいという目的を持ってエントリーしました。

評価（取り組み・生活）

- ・当初与えられた課題は「事業会社の新たな経営者と将来の戦略を策定する」でした。しかし、ホールディングス傘下では特異、且つ事業の市場性について十分な判断材料がないことから、市場調査を実施した上で戦略オプションを検討、提示する内容に課題を再設定して取り組みました。
- ・家業的な特徴を持つ事業会社で、これまで比較的規模の大きな企業と仕事をする中で培ったスキルや手法をどのように生かしていくかを考えることで、有意義な学びが得られました。
- ・大学で演習を担当する先生方や同期の研究員、過去の研究員など、様々なバックグラウンドを持つ皆さんから多角的にアドバイスを頂けることが本プログラムの最大の魅力だと思います。

今後の展望

・今年4月からは、新設された「経営戦略推進部」の一員として、東京を中心に、金沢と行き来しながら勤務します。この半年間での学びと反省点を生かし、事業会社の皆さんとより良い関係を築きながら、ホールディングスグループ全体の成長に貢献したいと思います。